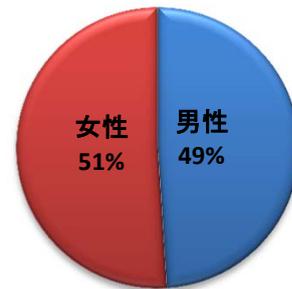


# 平成30年度 あんしん手帳 アンケート集計

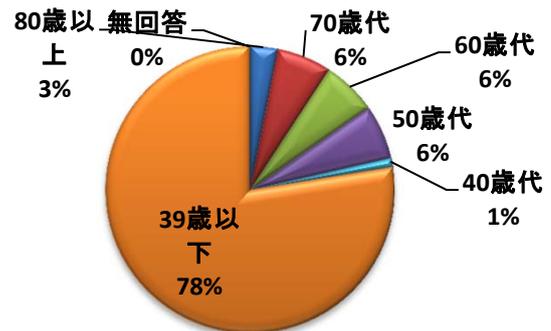
## ★ 性別

性別	件数	割合
男性	48	49.0%
女性	50	51.0%
無回答	0	0.0%
合計	98	



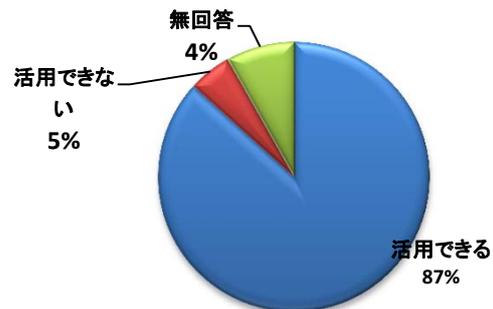
## ★ 年齢

年齢	件数	割合
80歳以上	3	3.1%
70歳代	6	6.1%
60歳代	6	6.1%
50歳代	6	6.1%
40歳代	1	1.0%
39歳以下	76	77.6%
無回答	0	0.0%
合計	98	



## ★ あんしん手帳は活用できそうですか？

あんしん手帳	件数	割合
活用できる	85	86.7%
活用できない	5	5.1%
無回答	8	8.2%
合計	98	



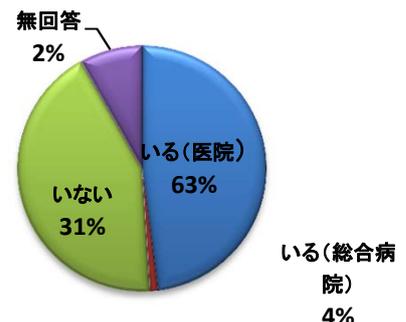
## ★ もし、あなたが病気で寝込んだとき、看病や世話をしてくれる人がいますか？

看病・世話	件数	割合
いる	66	67.3%
いない	22	22.4%
無回答	10	10.2%
合計	98	



## ★ 相談しやすいかかりつけ医はいますか？

かかりつけ医	件数	割合
いる(医院)	47	48.0%
いる(総合病院)	1	1.0%
いない	42	42.9%
無回答	8	8.2%
合計	98	



★あんしん手帳を記入した感想、加えてほしい項目、使いやすくするためのアイデアなどありましたらご記入ください。

・大事な物のカタミ分け（遺言書までいかないもの）服・アクセサリーetc.（50歳代 女性）

・以前医師会の講演で頂いたけど書くタイミングがわからなかった。本日説明を聞いて安心しました。（70歳代 女性）

・いのいちばん①、②があった方がいいな（60歳代 女性）

・かかりつけ医の決め方がわからない。（60歳代 女性）

・日頃から気にかかっていることが、あんしん手帳によりスムーズに記入でき、準備できました。高齢者には重宝で役立ちます。（80歳以上 女性）

（学生アンケート）

・使いやすさのみを考えるのならば、好きな食事等の質問を除外してよりシンプルなものにした方がいいのではないかと考えた。

・あんしん手帳を保管する場所のヒントなどが書いてあれば良いのではと思いました。

・書体が和やかで書きやすく感じる。

・病気の告知や延命治療などについての項目があり、自分や家族が病気にかかった時どうするか、考えたり話し合ったりするきっかけになるので良いと思う。

・実習の中でもあんしん手帳の重要性について学びました。すごく重大な項目を抜粋されているので書きにくさはないと思いますが、この冊子の重要性を伝えるセミナーと共に手渡し、セミナーの記憶が新しいうちに記入してもらえば記入率が上がると思います。

・ちょっとまだ遠い話のように思えて、真剣に考えることが難しかったです。ただ、母に書いておいてもらいたいと思いました。

・ポケットサイズにすればカードみたいに持ち歩きが楽なのではと考えたがそうすると字が小さくなるというジレンマが出てきて難しいですね。

・定期的に更新するシステムが欲しい。YES or NO以外の答えをつくる。

・手帳の存在を広めていけると良いと思った。

・大きさが中途半端でかばんに入れ続けるのもどこに保管するのも難しそう。

・くつろぎ方から延命処置についてまで、幅広い項目が記載されていて、とても良いなと思いました。いざとなると伝えられないことがたくさんあるなと思います。

・見やすい手帳で使いやすそうでした。

・自分が死んだら家族だけが残ることを考えれば、告知だけでなく、治療をどこまで行うかなどについても「家族が納得するまで」という項目があっても良いと思った。

・あんしん手帳があるととても心強いと思いました。

・葬儀のことなどまだ何も知らないから書けないことも多かったです。自分の親などを看取ったら全て書けるようになるのかなあと思いました。

・年齢が若いので自分が死ぬ時のことをまだ考えられない。自分の祖母が、「この年になると死ぬ時のことを考える」と言っているので、祖母と考えたいと思った。

・書く事で安心できる項目もあれば、その時点で決めるのが難しい項目もあったように感じました。

・あんしん手帳を誰に託せば良いのか書いてあればより良くなると思います。

・おくすり手帳などに入れられるようなファイルだともっといい。

・文字が大きくて見やすい。項目がたくさんあってよい。

・これを選択したらどうなるのかとイメージしやすい絵があると良いかなと思った。

・孤独死防止のために「おひとり様」用の項目、あるいは手帳を作成すると良いかもと思いました。

・記入する量が少し多いのではないかと思います。

・人生を考えるきっかけにはなると思う。

・介護から葬儀・お墓の事まで記載出来るようになってるのは驚きました。鳥取県ではこの手帳はかなり認識されているのでしょうか。もしもの時に家族や介護にあたる人がこれに気づかないと意味がなくなってしまうのでは。一人身の場合、言語及び運動障害を患った人は特に。

・とてもすばらしい手帳だと思いました。在宅が看取りでないのなら、世代関係なく配布するのが良いと思いました。

・項目が少し多いかなと思いました。

・医療に関する項目について説明したうえでこの手帳を配布されているのでしょうか。人工呼吸や心臓マッサージについて軽く説明があると良いのではないかなと思いました。

・先生もおっしゃっていたとおり、意見は変わるもので、健康な時といざ状況が変わった時は違うものになると思います。そこが難しい所だと感じました。

他にご意見があればご自由にお書きください。

・在宅と施設にかかるお金についての説明があればいいと思いました。施設に入りたいと思っても自分の年齢で入れるかどうか。(60歳代 女性)

・介護保険料ができた時に比べ2倍に値上がりしているとニュースで聞きました。国や市の予算の使い方を変えてはどうか。(70歳代 女性)

(学生アンケート)

・まだ若いから、とか私は大丈夫という気持ちで、あんしん手帳を書くのをためらったり後回しにする人が圧倒的に多いと思いますが、この手帳の存在を広めていくことが大切かなと思います。

・あまりこういうものを見たことがなく、自分の両親等にも勧めたいと思った。

・手帳があることで本人も満足し、介護する側もためらいなくその人が満足しているという認識のもとで、お互い安心して暮らせると思いました。

・本人と家族で参加する会合を公民館などで聞き、実際に話し合いながら書いてもらう機会を設ける。

・米子市における取組みを把握することが出来て、地域医療を考える上で参考になりました。

・まだ死についてリアリティがないので、なかなか意見を述べるのは難しいが自らの最期に意志を反映出来れば良い人生になるのではと思う。

・何かきっかけがなければ、書く機会、家族から聞く機会がないので、手帳を作るのみでなく、話し合う機会を設けることは出来ないでしょうか。(出来れば複数回)

・もしもの時だけでなく、自分や家族について考える良いきっかけになるものだった。

・とても良い手帳だと思います。死に方を意思表示するのは本当に大切だと思います。

・実際にあんしん手帳があることによって、死や看取りを考える機会が得られると思う。いつ死が訪れるかわからないと考えると、私もそろそろ考える必要があると思った。

・自分の家族にもあんしん手帳をすすめてみたいと思いました。

・在宅医療は他人事でなく、自分が関わることも大いにあると思うので、今回のお話しはしっかりと記憶に留めておきたいと思います。

・あんしん手帳をいつ使えるか悩んでしまう。

・このような手帳があると患者さん、ご家族、医療者とのコミュニケーションや理解がしやすくなると思いました。

・本人が記入していくことは難しいことだと思うので、側にいる人や医療従事者が日々接する中でその人の手帳を完成させていったらいいのではないかと思います。

・初めはこの手帳を見て、自分の死をどのように迎えたいかを意思表示できるすばらしいノートだった。しかし、患者さんによっては、その考え方が揺れ動いたり変わったりするものなので、なかなか理想の死を決めるのは難しいことなのかなとも感じた。

・もしもの時のために、あの世への逝き方を家族と話すことで本人にとって後悔しない生き方になると思う。看取りについて考える機会になって良かった。

・実際に行われている地域医療について学ぶことが出来ました。

・在宅医療の現場を少し見ることが出来、とても有意義でした。人間の幸せとは何かの動画、大変印象に残っています。自分自身の幸せについても考え直しました。

・くつろぎ方についての項目をもう少し増やせたらいいのではないかと思った。（例えば、好きなことについて自由に記載できるようにしたら良いかとも思いました。）

・もしもの時、最期の時は誰にも来る、これを知らない人はいないですが、そのことについて考えている人は少ないと思います。僕もそうです。その後回しにしがちなことに直面したときに焦らず後々納得できる選択をするため、絶対にふれておくべきものだと感じました。

・若いうちから使うべきなのですかね…。年齢に関係なく人間いつ死ぬかわからないので、もう少ししたら書いておいても良い気がしています。